

公式ウェブサイトの
「お知らせ」より
スマホで紙面が
見られます



新たな取組

清掃&餅つき大会で

企業活力向上



山協港運では昨年度末、白山神社の清掃活動と、従業員のご家族を招いた餅つき大会を初めて開催しました。清掃には二十名が参加し、日頃の感謝を胸に境内の清掃に取り組みま

した。続く餅つき大会では従業員と子どもたちが力を合わせて餅をつき、安全祈願を行いました。こうした行事には、従業員同士の交流や地域とのつながりを深め、会社に対

する理解や愛着を育むとともに、仕事への自主性を高めるという目的もあります。社会情勢の不透明さが業務にも影響を及ぼす中、新たな取引先の開拓だけでなく、作業の効率や品質の向上が企業の成長には不可欠です。あわせて、給与制度や人事評価の見直し、各種研修、理念策定など、働きやすさの向上や意識改革にも積極的に取り組んでいます。これからも、従業員の皆さんと共に歩む取り組みを、社内報を通じてお伝えしていきます。どうぞ毎号、お楽しみに！

新入社員に

聞いてみた！



趣味：野球観戦！

山室 梨紗 さん
(港湾作業係)

この春、新しく仲間に加わった山室梨紗さんを紹介いたします！

山室さんは港湾作業係に配属され、「テキパキと仕事をこなす」という目標に向かって、日々業務に取り組んでいます。入社決め手を伺

うと、「見学で訪れた山協港運に温かい雰囲気を感じた」とのこと。「早く仕事を覚えられよう」と頑張ります」と意気込みもバッチリ！

山室さんのこれらの活躍に期待ですね！



いい会社ってなんだろうと考えてみました。仕事内容や条件だけで決まるのではなく、誰とどの様に働くのか、やはり

共にする人が大切だと感じます。同じ目標を目指して、価値観が似た仲間と一緒に働ける事が、いい会社かなと思っています。(港運事業所・波多野担当部長)

理念策定プロジェクト

全員参加で進行中



三月十七日に開催された理念説明会では、昨年開始したプロジェクトの取り組みを確認する機会となりました。徳光社長は、「良い会社にする」という目標と既存の理念を再構築する必要性を訴えました。

また、渡辺先生は「理念が自分事になると、成長が可能になる」と語り、山協港運では理念をミッション・ビジョン・バリューの三本柱に分けて策定中であることを説明しました。さらに、会社で働く社員が共通の言葉として共有し、各人が自己の満足を実現していくための指針となるものだと指摘されました。それに関連して、社

長は山協港運は山九の子会社であるが、その状況に依存するのではなく、「お客様の満足を通じて、従業員の満足を叶えます」というミッションがあると思われました。それに基づき、選ばれたメンバーが会議を重ね、自社の立ち位置や他部署の業務を確認しながら会社の理想像を検討し、「働く人の活気とその先の笑顔にあふれる、北九州の製造と物流を支える、安全安心のプロジェクトになります」というビジョンを決定しました。

残るは、バリューの策定です。全社員の意見を反映させ、ビジョンを実現できる指針が完成することが期待されます。